

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人榎本峰夫の上告趣意は、憲法一四條違反をいうが、原判決は、被告人が暴力団に所属していたことをもつて、直ちに被告人に対し、量刑に関し不利益な差別的処遇をしたものとは認められないから、所論違憲の主張は前提を欠き、刑訴法四〇五條の上告理由にあたらぬ。

よつて、同法四一四條、三八六條一項三號、一八一條一項但書により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和五七年一〇月六日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	大	橋	進
裁判官	木	下	忠 良
裁判官	鹽	野	宜 慶
裁判官	宮	崎	梧 一
裁判官	牧	圭	次